

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			運動療育を行なっている為、規定の人数より多く職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表を今後も積極的に活用し、業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			札幌市で行われている研修に参加したり、事業所内研修を定期的に行なっている。
適切な支援の提供	⑨	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	○			保護者との面談で、子どもへのニーズを聞き取り、職員間で会議を開いて話し合い、放課後等デイサービス計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	他機関で検査した結果を活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	○			子どものニーズや目標に合わせて、飽きがこないよう運動療育の内容を変更している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず、支援の内容や役割分担を記載した指導案をもとに、職員間で打ち合わせをして確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校によって情報共有が出来るところと出来ないところがある。	
	㉒	医療的ケア学校休業日必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		運動療育を行なっている為、医療的ケアが必要な子どもを受け入れている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		原則、児童は小学校3年までの受け入れである。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修をうけているか	○				
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後積極的に参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				日々の保護者対応の中で、子どもの活動時の様子や課題について詳しく話している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				説明を行なっているが、理解出来ない保護者が見受けられる為、より丁寧な説明をしていく。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				茶話会を開催し、保護者同士の連携を支援しているが、必要としない保護者もいる。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明をし、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉔	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○				
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知しているか			○		今後マニュアルの周知を徹底していく。
	㉑	非常災害の発生の備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				
	㉒	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				最初の面接時にアレルギーの有無を確認し記録している。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				